

令和元年度 第5回菅田小学校跡地利用検討委員会 議事要旨	
日 時	令和2年3月9日（月）19:00～20:00
場 所	西菅田団地集会所
出 席 者	小池委員（委員長）、野原委員（副委員長）、小川委員、竹山委員、川越委員、鈴木委員、小泉委員、高橋委員、松野委員 計9名
欠 席 者	工藤委員 計1名
事 務 局	神奈川区役所区政推進課
関 係 課	神奈川区役所総務課係長、地域振興課長、福祉保健課係長、こども家庭支援課長、生活衛生課長
関 係 者	独立行政法人都市再生機構（UR）担当者
開 催 形 態	公開（傍聴者0名）
議 題	（1）地域として跡地に必要とする機能の取りまとめ（提案書）
議 事	<p><b>◆はじめのあいさつ</b></p> <p>（委 員 長） 災害が多く、風水害などいつ何が起こるかは分からない世の中なので皆さんで協力しようとは言ってきたが、別の件（コロナウィルス感染症）で、このようになるとは想像していなかった。こういう状況下ではあるが、ここまでせっかく議論して皆さんでまとめてきたので、あまり結論を先延ばしするのも良くないと考え、副委員長と相談して本日の検討委員会を開催することにした。できるだけ検討委員会で取り組んだことが実りあるものになるように委員の皆さんで最後まで取り組んでいきたい。</p> <p><b>◆議題（1）地域として跡地に必要とする機能の取りまとめ（提案書）</b></p> <p>（事 務 局） 〔資料1より第4回検討委員会（1月29日）以降に地域から新たに1件の意見が寄せられていることを報告。〕</p> <p>〔資料2よりこれまでの意見を踏まえ作成した提案書の案について説明。〕</p> <p>まず、1ページの表紙について前回、地域防災拠点関係者を追加してほしいとの意見があったので、追記した。移動手段の課題については3ページに記載している。また菅田地区の地域福祉保健計画の話し合いの中でも、今後、移動支援については議論することになっているので、その中で検討を進めていただきたい。4ページから8ページには、5つの機能「多世代交流の場・子供の居場所」「スポーツができる場所」「防災の機能」「医療サービスの機能」「行政サービスの機能」における方向性等を具体的に記載し</p>

	<p>た。8ページ下段には提案書の取り扱いについて記載した。今後、取りまとめていただいた提案書を地域の意見として、それを参考にして、市での庁内検討を進めていく。ただし、菅田小学校跡地に5つの機能すべてを組み込むことは難しい。そのため、5つの機能の中から「特にこれだけは」というものを記載し強調する方法もある。その方法が良いかどうかを委員の皆さんで検討していただきたい。9ページと10ページには「これまでの検討の経過」と「委員名簿」を記載している。</p>
(副委員長)	<p>機能については、5つすべてが必要ではあるが、特に必要な機能であれば「多世代交流の場・子供の居場所」「スポーツができる場所」「防災の機能」の3つ（以下、「3つの機能」という）になるのではないかと。3つの機能と残り2つの機能（「医療サービスの機能」「行政サービスの機能」）については、必要性の度合いが異なり、3つの機能は必要不可欠であると思う。委員の皆さんからの意見も聞きたい。</p>
(委員長)	<p>5つの機能すべてを組み込むことが難しいのであれば、特に優先すべき機能を示した方が良いと思う。副委員長の意見は、3つの機能は特に重要かつ必要であり、残り2つの機能は菅田小学校跡地にあると良いという程度の考えであるが、委員の皆さんはどのように考えているか。</p>
(委員全員)	<p>〔特に必要な機能については、3つの機能にすることで合意。〕</p>
(事務局)	<p>3つの機能が必須であるということになれば、これらの機能が制約条件となり、今後の菅田小学校跡地活用が進まない可能性がある。それでも地域としては3つの機能が絶対に必要であるという考えのままで良いか。事務局としては、機能を1つ程度に絞った方が良いのではないかと考えていた。ただし、地域として3つの機能が絶対に必要であるということであればそのままで進めていく。委員の皆さんは所属する各団体を代表して意見を述べてもらっていると思うので、機能を1つに絞ることが難しいことは承知している。</p>
(川越委員)	<p>3つの機能が必要であるとしてはいけないのか。例えば、「多世代交流の場・子供の居場所」の機能を重視しても、もし建物が建て直しになり、異なる施設になった時はまた</p>

	<p>デイサービスなど入ってくる可能性がある。3つの機能は菅田小学校跡地活用に必ず組み込んでもらいたい。グラウンドも体育館も必要である。これ以上、老人施設は必要なのではないか。地域住民がどのように菅田小学校跡地を活用するかについて重視するのであれば、子供の居場所や、10年・20年先のことを考えた時に地域の人が集まれる場所が必要だと思うので、3つの機能は重視してもらいたい。</p>
(委員長)	<p>例えば、上手く後利用の話が進み、大きな病院を建てることになったとしても、まずは1番に重視してもらいたいのは3つの機能である。</p>
(小川委員)	<p>3つの機能は重視してもらいたい。3ページの移動手段についてはこれを機会にシャトルバスを走らせるなど検討を進めるべきである。</p>
(川越委員)	<p>緑区の東本郷地区では、小型バスが走行するようになった事例がある。当初はバスを走行させることについては、当該地区が高級住宅街で走行させることに対して抵抗があったり、自家用車やタクシーの利用により不要であるという考えから反対する人が多かった。一方で、必要性を訴えていた人がいたことやバスの必要性が徐々に高まったことにより、結果としてバスを走行させることになった。菅田地区についても検討を進めていく中で、バスは必要である。</p>
(小川委員)	<p>ここより奥に行くと老人ホームが3つある。そこをバスが経由すれば、入居者の家族や施設の従業員も利用することができて便利になる。また西菅田団地の真ん中も経由してくれば、住民も便利になる。あとで検討するのではなく、この機会を活用し検討すべきである。この検討委員会と切別に検討を進める場合、地域がどこまで調整できるかは分からない。それらの課題を含め、3つの機能を組み込むことを前提に検討を進めていくべきである。</p>
(副委員長)	<p>移動手段の課題を提案書に盛り込めたことは良かった。検討委員会は菅田小学校跡地利用を検討する場であり、論点がずれてしまうのであまり強調し過ぎるのも良くないかもしれないが、もう少し移動手段の課題を強調しても良いと思う。</p>

(松野委員)	枠囲みするなどもう少し強調して目立つようにしても良いのではないか。検討委員会で検討すべき論点とは異なるかもしれないが、移動手段の課題は委員の皆さんでよく話し合われた内容である。
(委員長)	地域で何かを取り組むにしても移動手段が大きな課題であり、提案書の中では強調した方が良い。
(小川委員)	3つの機能を取り込むにしても菅田小学校までの移動手段が必要である。お年寄りが菅田東町や西菅田団地から来るにしても菅田小学校まではバスを利用して来る可能性がある。
(事務局)	移動手段の箇所は太字にして枠で囲む形で修正する。
(副委員長)	移動手段と組み合わせて3つの機能を検討した方が良い。移動手段がないと利用者も増えない。西菅田団地内で移動が困難な住民が多いので、コミュニティバスなどが必要である。
(事務局)	菅田小学校跡地利用と移動支援を切り離して考えるつもりはない。菅田地区の地域福祉保健計画策定の中でも検討していく。地域によってはデイサービスの車を使ってボランティアバスを走らせている事例がある。移動支援が実施できないかについては区としても一緒に考えていくつもりである。 「医療サービスの機能」について、菅田小学校から半径750mの範囲内にある医療機関が合っているかの確認や必要な診療科目などについて、委員の皆さんから意見を聞きたい。
(副委員長)	整形外科は必要である。整形外科に行く場合は、鴨居や片倉の方までバスで通っている人がいる。
(事務局)	整形外科で見ると、半径750mの範囲内にも整形外科はあるが、鴨居方面に行く人が多いのか。
(副委員長)	整形外科は継続して通院する人が多い。長期的に通院するとなると、高齢者はバスに乗って鴨居や片倉の方に行くことが多くなる。
(川越委員)	バスに乗って整形外科に行くしかない状況である。
(事務局)	近隣の医療機関にない診療科目に整形外科を加えるということが良いか。
(委員長)	片倉の方まで行けば、医療機関はたくさんある。菅田小学

	校跡地にメディカルビルのような建物があると良いと考えたので、提案書の中で必要な機能に「医療サービスの機能」を加えた。
(竹山委員)	地域からの需要があるかは分からないが、皮膚科もない。
(小川委員)	そもそも医師がいないと病院を作ることはできない。過去には近隣でメディカルビルができるような話が出ていたが、その話は途中で無くなってしまった。
(委員長)	医師や患者がいないと病院は成り立たない。
(小川委員)	交通手段の確保としてシャトルバスなどがあれば、近隣の医療機関に行くことができる。あと羽沢横浜国大駅に行けるバスもあれば良い。シャトルバスなどがあれば、菅田小学校跡地に医療機関がなくても、それで事足りるのではないか。
(事務局)	近隣の医療機関にない診療科目に皮膚科を加えるということで良いか。
(副委員長)	今回の提案書の意見を踏まえて、市の方では菅田小学校跡地活用の検討を進めてもらいたい。
(事務局)	委員の皆さんにまとめていただいた提案書を市の庁内検討を進めるなかで活かしていきたいと考えている。また区としては、地域の意見を代弁する形で調整していきたい。特に3つの機能を市としてどこまで入れられるかについては、地域と対話をしながら進めていく必要がある。地域には定期的に市での検討状況に関する情報を発信するとともに、地域からの意見も聞いていきたい。
(川越委員)	区長宛に提案書を提出したあとは、いつ頃に提案書に対する回答が来るのか。
(事務局)	市の庁内検討の中で後利用の方向性が決まらないと、入れられる機能を決めることはできないので、提案書に対する回答をすることは難しい。市での検討状況は必要に応じて地域へ情報提供をしていく。必要とする機能がどこまで組み込めるかについては地域とも検討していきたい。
(川越委員)	地域には検討委員会ニュースなどのお知らせがまた配布されるのか。
(事務局)	地域の周知方法についてはまだ決まっていないが、地域には広く周知できる形で実施したいと考えている。
(川越委員)	区長にはいつ提案書を提出するのか。

(事 務 局)	このあと、委員長と副委員長の日程調整をして決める。 先ほど話に出た提案書に対する回答時期については、菅田小学校が跡地になるのは令和6年度以降であり、市が跡地に何かを整備するにしてもまだ先のことなのですぐに決められるものではない。また整備を進めるにあたっては調整等に時間がかかるので、提案書に対する回答についてもすぐにできるものでもない。
(委 員 長)	全体的に提案書の内容は上手くまとまったと思う。移動支援の課題も盛り込むことができ、菅田地区の状況が分かるように書かれている。今後は必要な機能が後利用にどこまで組み込めるかが問題である。 本日の検討委員会で出された意見をもとに提案書を修正し、この場で確定させる方向で進めて良いか。
(委員全員)	〔提案書を確定させることで合意。〕
(小川委員)	提案書の委員名簿について、菅田小学校の学区外のひまわり団地自治会が入っている。菅田南町自治会周辺とする考え方であれば、菅田住宅自治会も委員に入れるべきだったのではないかな。
(委 員 長)	当初は菅田住宅自治会にも委員のお願いをしていたが辞退された。菅田地区全体で検討するのであれば菅田東町なども含めるべきだと思ったが、連合町内会長の自分が松葉台地区にいたこともあり、最終的には区と相談して委員のメンバーを決定した。 菅田地区全体で考えていくのであれば、菅田東町や松葉台などの地区の意見も必要になってくると思うが、課題や問題などは周辺地域の状況を知っている人でないと具体的な意見は出てこない。周辺地域から離れていると他人事になってしまい、意見も出しにくいこともあり菅田地区全体で検討することは難しいかもしれない。結果としては、現在のメンバーで検討を進められて良かったのではないかな。 区長に提案書を提出するのは、検討委員会を代表して委員長と副委員長で提出するという事で良いか。
(委員全員)	〔上記の対応方法については了承。〕
(事 務 局)	提案書は3月26日(木)に区へ提出することでよいかな。
(委 員 長)	〔了承。〕
(事 務 局)	菅田小学校跡地利用検討委員会会則第6条に従い、提案書

	<p>の提出をもって各委員の任期が終了する。今後の流れは、来年度以降、市で公共公益的な活用方法を検討していく。第1回検討委員会でも説明したが、今回の提案書でまとめていただいた意見を参考に、市の活用方法の中で5つの機能をどこまで盛り込めるかを検討する。市での検討状況については地域に情報提供していくので、地域の皆さんからも意見を出していただきたい。</p> <p><b>◆おわりのあいさつ</b></p> <p>(委員長) 提案書をまとめることができて良かった。最初は大変なことだと思っていたが、第2回検討委員会では他の学校跡地の状況を見ることができ、課題や問題などを具体的に考えられるようになった。また、地域の現状を知ることもできた。まだ未確定のことや検討すべきこと、例えば学校統合に伴う通学路の問題などが多いので、引き続き、地域としては今後の状況を気に掛けていかないといけない。ただし、提案書の確定により1つの方向性が見えてきたことは良かった。委員の皆さんには今後も菅田地区のために協力し合い、色々取り組んでもらいたい。</p>
--	---